

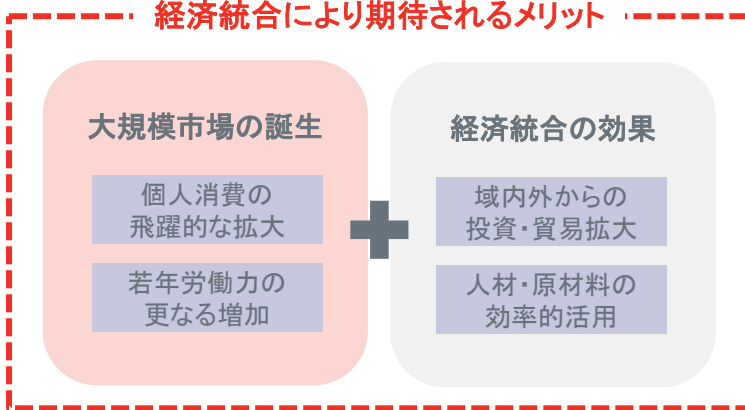
新たに生まれる巨大経済圏 ASEAN経済共同体

ご参考資料 2014年4月14日

人口6億人を超える巨大経済圏発足へ

- ASEAN(東南アジア諸国連合)は1967年の設立以降、加盟国数は10カ国へと増加し、各国間の協力関係を徐々に深めてきましたが、2015年中に予定されているASEAN経済共同体(AEC)の発足をきっかけに更なる経済統合の推進が期待されています。
- ASEAN経済の統合が実現することは、人口約6億人、名目GDP規模で世界7位に相当する巨大経済圏が誕生することを意味し、注目を集めています。
- AEC発足を機に、域内での成長機会が増えることが予想されるだけでなく、それぞれの国が相互補完し合うことで、国際的な競争力が高まることが期待されます。

経済統合により期待されるメリット



豊富な人口を背景としたASEANの魅力

- ASEAN地域は若年層に厚みを持つ人口構成を有しており、労働力人口の中長期的な増加が予想されているため、今後も投資先としての魅力は高まる見通しです。
- 近年の堅調な経済成長を背景に、所得水準が大幅に向上しており、2020年には中間所得者層が3.7億人に達すると予想されています。
- 個人消費も堅調な拡大が予想されており、2020年には約2.2兆ドル規模の巨大な消費市場への成長が見込まれています。中間所得者層の増加により消費そのものの拡大に加え、教育費や娯楽費といった選択的支出の増加も期待されています。

ASEAN加盟国

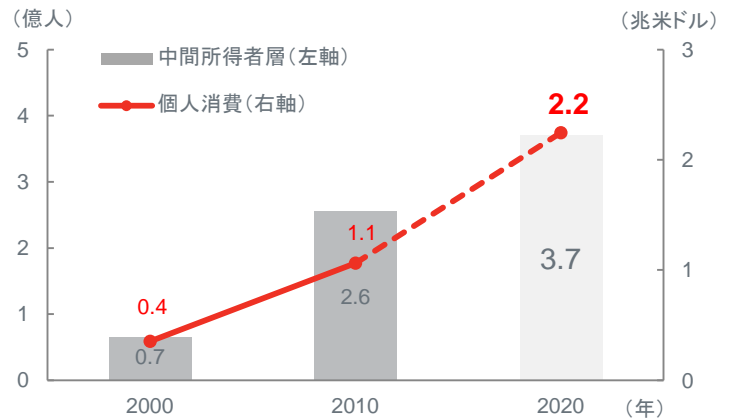


世界とASEANの名目GDPランキング(2014年時点IMF予測)

順位	国名	名目GDP (兆米ドル)	人口 (億人)	一人当たり名目GDP (米ドル)
1	米国	17.5	3.2	54,980
2	中国	10.0	13.7	7,333
3	日本	4.8	1.3	38,142
4	ドイツ	3.9	0.8	47,893
5	フランス	2.9	0.6	45,123
6	英国	2.8	0.6	43,830
7	ASEAN	2.5	6.3	3,882
8	ブラジル	2.2	2.0	11,080
9	イタリア	2.2	0.6	36,216
10	ロシア	2.1	1.4	14,645

出所: IMF世界経済見通しデータベース(2014年4月)に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成

ASEANの中間所得者層および個人消費の推移 (2000年~2020年)



出所: Euromonitor International (一部予測値)のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成※中間所得者層はインドネシア/マレーシア/フィリピン/シンガポール/タイ/ベトナムの6カ国の合計。

“ヒト、モノ、カネ”の行き来が自由になる

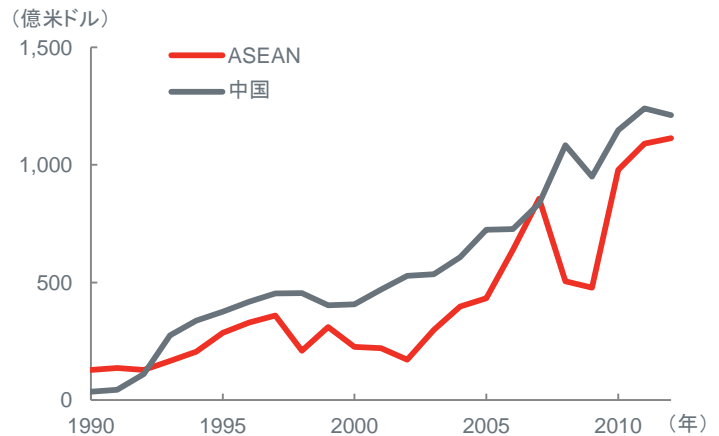
- ASEAN経済共同体は具体的な政策項目においては相違点こそあるものの、EUのASEAN版とも言える強い結びつきを目指して設立されます。2015年の設立を機に、今後のASEAN経済圏の更なる活性化に向け様々な措置や制度の制定が予定されています。

予定されている代表的な政策	
域内関税の撤廃	関税の撤廃による域内貿易の促進
サービス分野の規制緩和	サービス分野に係る制限の撤廃や海外企業参入に関する出資規制の緩和
熟練労働者の移動自由化	建築士、歯科医等の専門職における国家資格の相互承認が可能に
資本の移動の自由化	資本市場の統合と資本の移動促進の強化
投資の自由化	域内外からの投資への規制緩和による、開放的な投資受け入れ体制の構築

直接投資を呼び込み国際競争力を高める

- 近年中国での人件費高騰などを背景に各国企業が次なる製造拠点を求める動きが強まっており、低賃金で豊富な労働人口を擁するASEANが注目されています。
- このような状況の中でASEANへの直接投資は年々増加傾向にあり、域内が経済統合され、投資環境が整備されることにより直接投資の更なる拡大が期待されます。
- 豊富な労働人口を擁しながらも、所得水準の低い国は直接投資拡大による経済成長の余地が大きいため、こうした国々に投資資金が行き渡ることにより、地域一体での国際競争力の高まりが期待されます。

ASEANおよび中国の年間直接投資額の推移 (1990年～2012年)

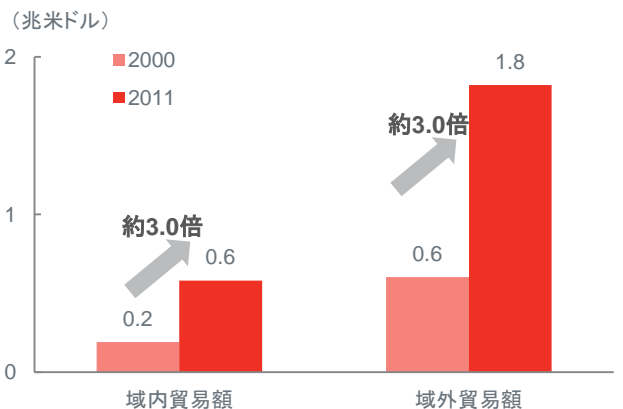


出所: UNCTAD Major FDI indicatorsのデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成

産業強化による貿易額の増加

- ASEANでは貿易額が増加傾向にあり、2011年には2000年対比で約3倍に増加しています。
- 今後は経済共同体の発足による貿易や投資の拡大が期待されています。前例としてEUでは2011年に貿易額がEU発足前の1992年対比で約3.5倍に増加しました。
- 加盟国間の関税撤廃による域内貿易の拡大は特に注目されています。現在ASEAN加盟国の内、すでに6カ国間でほぼ全品にわたって関税が撤廃されていますが、2015年には他の4カ国でも(ベトナム、ミャンマー、カンボジア、ラオス)関税の撤廃が予定されています。

ASEAN域内貿易額と域外貿易額



出所: JETROのデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。